

令和3年第7回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和3年6月23日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 三尾 和樹 田島 雅子 小栗 仁志 橋本 あみる

事務職員 三宅事務局長・氷室教育次長（兼）学校教育課長・伊藤事務局次長
（兼）教育企画課長・河合事務局調整監（兼）幼児教育課長・丹羽
文化スポーツ部長・梶屋教育研修所長・長瀬施設計画推進室長・西
尾発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐ
り所長・太田阿木高等学校事務長・佐々木阿木高等学校教務主任・
池戸生涯学習スポーツ課長（兼）オリンピック推進室統括主幹
（兼）少年センター所長・原文化振興課長（兼）市史編さん室長・
小池図書館長・青木中央公民館長・宮嶋鉱物博物館長（兼）東山魁
夷心の旅路館長・小川教育企画課主任

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	議第22号	中津川市指定文化財の解除について	承 認
第2	議第23号	令和4年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用 図書の採択について	承 認
第3	議第24号	令和4年度中津川市立阿木高等学校の入学定員に ついて	承 認
第4	議第25号	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見に ついて	承 認

■教育長 本日は4名の委員の出席を得ましたので、委員会は成立しました。

ただいまから令和3年第7回中津川市教育委員会を開催します。本日は阿木高等学校の教科用図書の採択について説明をしていただくために、教務主任の佐々木先生にも参加していただいています。後ほど説明をよろしくお願いします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議とします。

日程第3、教育長報告をします。前回以降の出席行事を中心に報告します。

5月27日は中津川市学校保健会理事会兼総会に出席しました。学校医の代表の先生などから水泳授業についてご指導をいただき、今年も「実施可」と判断していただきました。6月1日は今年度新たに設けた市初任者指導推進委員会を行いました。各初任者の指導を担当していただいている4人の元校長先生に集まいただきました。各初任者の状況、配置している各学校の指導の状況について報告を受け、採用から2カ月を経た段階での個々の職員の課題を明らかにし、今後の育成について検討しました。とても有意義な会だったと思っています。できれば年3回程度は行い、初任者のスタートの1年を教育委員会としても見守っていきたいと思っています。

同日、子どもの読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受けた南小学校に賞状を伝達し、翌2日に市長報告をしました。当市としては、平成30年の第二中学校に続いて2度目の受賞になりました。

3日から市議会6月定例会が始まり、14日、15日は一般質問に、22日は予算決算委員会に出席しました。また、議会開会前に市議会議長副議長を訪ね、岐阜サマー・サイエンス・スクールの開催について、チラシ等をお持ちしてご説明してきました。8日は幼保合同園長会に出席しました。なかなか日程が合わず、今年度初めての出席になりました。感染予防対策など様々な対応に感謝するとともに、絆プランや法人園も含んだ幼保小の連携などの特色ある取組みの推進をお願いしました。加えて、子どもの体力増進につながる取組みの充実についても依頼しました。幼保の適正配置計画については、中津川市立園を任されている者として、必要性に対する理解を深め、推進に向けて我々事務局とともに努力していただくようお話ししました。9日は校長研修会に出席しました。教育長訪問は、5月28日に福岡小と高山小、6月7日に苗木小中、18日に坂本小で行いました。参加いただきました委員の皆さんからは、いつも温かいご感想、貴重なご示唆を頂戴しています。ありがとうございます。

今後の主な行事です。5月25日は教頭会に出席します。26日は中体連市大会が行われますので、教育次長と分担して各会場を回る予定です。28日は市議会最終日、7月5日は東濃地区教育長会、7日は校長研修会、8日は岐阜で行われるへ

き地教育振興会総会に出席する予定です。教育長訪問は、南小、第一中、山口・川上小、坂本中、加子母小中で行います。よろしくお願いします。以上です。

次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。

三宅事務局長。

■事務局長 前回以降の主な出席行事等についてご報告します。

新型コロナウイルス関連につきましては、6月3日に東小学校、東さくら保育園の児童・園児、ご家族が陽性となる事案が発生しました。同じ登校班の子が濃厚接触者としてPCR検査を受けましたが、陰性でした。この間に、東小学校、東さくら保育園とも、通常どおり開校・開園しました。6月5日は福岡保育園の園児が陽性となる事案が発生しましたが、濃厚接触者はいないと判定され、通常どおり開園しました。この間、5月28日、6月3日、4日、7日、8日、17日、18日に、岐阜県及び中津川市新型コロナウイルス対策本部会議が開催され、6月16日は岐阜県新型コロナウイルス感染症教育推進協議会が開催されました。現在、新型コロナウイルス対策はワクチン接種に軸足が移りつつあり、高齢者接種から一般接種への流れと並行して、職域接種も別途広がっています。そうした中で、教育関係者への優先接種をスムーズに進めていきたいと考えています。

5月29日は岐阜県障害幼児研究会総会が開催され、総会の後、大湫病院の関先生の講演会が行われました。31日は市災害対策本部設置運営訓練が開催され、有事の際の手順、課題等を確認しました。6月1日はプロポーザル審査委員会が開催され、市内の街路灯などのLED化の提案を審査しました。2日は南小学校長と図書館司書が市長に面談し、文部大臣表彰の報告をしました。16日はNPO法人防災士なかつがわ会の理事長さんと副理事長さんが教育長と面談し、市内小中学校の刺股板整備事業の完了報告をいただきました。教育長訪問は5月28日に福岡小と高山小、6月7日に苗木小と苗木中に参加しました。

市議会関係は6月3日の本会議初日に、新ふくおか小学校の木材調達の財産の取得についてご承認をいただき、本契約を締結いたしました。6月14日と15日に一般質問が行われ、教育委員会関係では、柘植議員、鷹見議員、糸魚川議員からヤングケアラーについて、田口議員と黒田議員から災害時の対応について、木下議員から新型コロナウイルス感染症の感染防止対策についてご質問をいただきました。22日は予算決算委員会が行われ、教育委員会関係では、9月補正予算として、日東工業株式会社様とウエダ歯科医院様からの寄附の受領、新型コロナウイルス感染症対策として小中学校での修学旅行の際の補てん、GSSS、ふるさと魅力体験事業、阿木高校のGIGAスクール構想に伴うタブレット購入についてご審議いただきました。

今後の予定です。教育長訪問は、6月24日に南小、29日に一中、30日に山口小と川上小、7月1日に坂本中、12日に加子母小と加子母中で行われる予定です。6月25日は教頭会が、7月7日は校長会が開催される予定です。6月28日は市議会本会議の最終日で、審議していただいている補正予算等が議決される見込みです。以上です。

■教育長 丹羽文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

5月7日に「まん延防止等重点措置」に指定されたことを受け、公共施設等への時短要請を初めとするさまざまな感染拡大防止策の強化に取り組んでまいりました。

「まん延防止等重点措置」の指定は6月20日をもって解除されましたが、第4波は終息したわけではなく、県の方針でも向こう2週間は感染や医療提供体制の状況の変化に応じて、弾力的にさらに必要な措置を講じるとされています。

東京オリンピックのホストタウン事業まで1カ月を切った中で、令和元年1月にアメリカレスリング協会と交わした覚書により、お互いの信頼関係に基づいて安全安心な事前合宿を受け入れるため、現在準備を進めております。対策としては、米国チームと市民との接触を避けるため、宿泊施設の貸し切りや、宿泊施設と練習会場は専用バスによる移動とします。また、簡易のPCR検査を毎日実施し、チームドクターも同行しており、選手等の健康管理を行います。

6月21日以降は、文化スポーツ施設の午後8時までの時短営業、市主催のイベントを原則中止又は延期は全面解除としましたが、引き続き基本的な感染防止対策は徹底します。

主な行事です。重複する内容は省略します。6月14日から15日に市議会一般質問が開催され、4人の議員から質問がありました。牛田議員からの「施設の保守管理について」は「計画的な機器更新が望ましいですが、施設数が多く、耐用年数が経過しても保守点検をしっかりと行い、延命できる設備については可能な限り使用する」と答弁しました。島崎議員からは「青邨記念館の再建について」と質問がありました。これには「令和3年3月末現在の美術館建設及び美術品等取得基金の残高は現在7461万円です。中期事業実施計画では、『民間の力を活用した、美術館機能を備えた施設の構想を作成する』こととなっておりますが、美術館を取り巻く環境が大きく変化しており時代潮流を踏まえたさらなる議論が必要と考えている。現在、市民交流プラザの建設に集中して取り組み、その後に、完成後の街の状況や人の流れなども確認しながら、県との連携や民間の力の活用などあらゆる角度から幅広い検討を行っていくことが望ましい」と回答しました。

木下議員からの「ホストタウンの中止について」は「新型コロナウイルス感染症

対策をしっかりと行い、受け入れる予定であり、中止は考えていない」と答弁しました。糸魚川議員から「障がいによる読書が困難な方への図書館の配慮について」と質問がありました。「ハード面ではバリアフリー化、ソフト面では音訳図書、点訳図書、大活字本、朗読CDなど様々な形態の資料の収集と貸出、今後は、サピエ図書館やデイジー図書の紹介や市のホームページにサービスの紹介や広報なかつがわでの定期的な記事の掲載などPRを充実して障がい者に広く活用できるサービスができるように努力します」と答弁しました。

6月22日、第40回少年の主張中津川市大会「わたしの主張2021」を今回は映像審査で行いました。事前にDVDを各代表者、学校で作っていただき、東濃審査会への代表者1名を決定しました。教育長、三尾委員には審査員として、審査をしていただきありがとうございました。

今後の予定です。6月25日から9月26日「音楽と物語のある絵・本間希代子展」が熊谷樫つけちギャラリーで開催されます。6月25から28日、総合文化祭を行なっております。展示部門がにぎわいプラザ5階で開催しています。27日は文化会館ホールでステージ部門が行われます。今回、コロナの関係で来賓等のご挨拶はありませんが、ぜひ皆さんに見ていただきたいと思っております。6月26日から7月25日、苗木遠山史料館で前田青邨画伯の展示会を開催します。7月2日、第4回ホストタウン実行委員会を開催します。3日、第50回記念東濃スポーツ大会が開催されます。13日、東京2020パラリンピック聖火リレートーチが市役所ロビーに午後から展示されます。以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 南小学校がいただいた文部科学大臣賞は、学校が受賞したのですか。

■教育長 優秀実践校という学校表彰でした。第二中学校も同様です。

ほかにご質問等ありませんか。

ご質問等がありませんので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1 議第22号「中津川市指定文化財の解除について」提案説明をお願いします。

原文化振興課長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

ご意見、質問等がありませんので、ご異議がなければ、議第22号については、承認ということでよろしいでしょうか。

議第22号「中津川市指定文化財の解除について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第23号「令和4年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書の採択について」提案説明をお願いします。

太田阿木高校事務長、佐々木教務主任。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 2年、3年と同じものを使うのですか。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 教育課程表が資料14ページにあります。例えば国語ですと、現代国語は1年生で2時間使い、2年生ではその科目はなく、新しい科目として国語表現という科目の教科書を選定します。まだ発行されていないものもあるので、1年で履修した方がよい科目ということで選んだのが、現代の国語と言語文化です。それぞれ1年間使う予定です。2年使うものもありますが、原則1年で1冊です。

■教育長 ほかにいかがですか。

ご意見、質問等がありませんので、ご異議がなければ、議第23号については、承認ということでよろしいでしょうか。

議第23号「令和4年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書の採択について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第24号「令和4年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について」提案説明をお願いします。

太田阿木高校事務長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 阿木高校には学校評議員会か学校運営協議会のどちらがありますか。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 評議員会があります。今後、運営委員会に移行する方向で検討しています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 阿木高校をやめた子の存在を耳にすることがあります。中津川市内の阿木高校以外の高校と比べて退学者の数はどうですか。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 正式な数の記録を持ってきていませんが、昨年、退学者はいませんでした。転学した生徒が1人いました。他校ではコロナの関係でなかなか通えなくて、休みがちになりそのままやめたという話を例年より多く聞きましたが、昨年、本校ではいませんでした。過去の退学者数は公の表になっていないので、教務主任会議などで聞く限り、極端に多くやめているという現状はありません。

■教育長 田島委員。

■田島委員 安心しましたが、中津高校の定時制は入学時と比べて卒業時には目に覚えて減っていると聞きましたので質問しました。

生徒に寄り添って中学校の振り返りに取り組んでくださり、また、社会生活に密着しているので、必要な知識、常識や習慣をしっかり指導してくださり、カリキュラムとして申し分ないと思います。個人的にお付き合いしている阿木高校の生徒に雰囲気を知ることがあり、その個人に寄り添っているのかなと、一方から聞いただけなので分かりませんが、心配していました。高校の先生方が阿木高校へ赴任されると、ちょっと感じが違うところでの指導になるので、戸惑いや対応の仕方が変わってくると思います。そういうことを先生方にしっかり伝えてみえるとは思いますが、そのあたりをお聞きしたいです。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 阿木高校の事務長として3年目になりますが、自分の息子の高校と比べると、本当に阿木高校の先生方は生徒に寄り添っていると肌で感じます。小中の先生より優しいのではないかと思います。ただし、社会に一番近いところなので、就職試験の面接がそのスタイルでいけるのかななどを基本にしているので、挨拶などは多少厳しく指導していることもあります。この後、社会に出ていくことを思うと、締めるところは締めてみえると思います。一昨年は何人かやめた子もいたので、合わなかったと思います。通信教育を受けるという話は聞きましたが、実際に受けている話も聞かないので、生徒たちも阿木高校で頑張っている中で、通信で自分任せになるのは大変と感じていると思います。

■教育長 田島委員。

■田島委員 人と人とのことなので難しいと思います。デリケートな生徒が多いということで、先生方も苦勞されていると思います。就職率がしっかり結果として出ており、阿木高校を守るために先生方が苦心しているのがよく分かります。時々振り返ってみて、確認してみることもなさりながら、頑張ってみえると思いますので、よろしくお願いします。

■教育長 ほかはいかがですか。

小栗委員。

■小栗委員 入学定員が各学科40人で合計80人ですが、40人の意味を根拠があれば教えてください。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 岐阜県立定時制高校は定員40人です。在学者が5人という学校でも40人は変わっていません。全日制だとこの近隣では坂下高校や恵那農業高校も定員は40人ではないです。県が生徒の状況で、全日制は40人を下回る定員にしています。定時制は県内に40人以下の学校はありません。そこが一つの根拠です。40人集まるといいとは思いますが。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 資料に入学者の過去の実数を出してありますが、補足的な説明があればお聞かせください。また、定員40人に近づける対策があれば教えてください。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 入学者数は年々減っていて、30人前後で推移しています。なかなか生きにくい子たちが増えてきている中で、阿木高校を卒業したいという希望を持っている生徒数だと思います。中津、恵那、瑞浪、土岐、多治見の東濃圏内からだけでなく、今年から東白川の生徒が1人来ています。阿木高校で、中学校でできなかったことを学び直して、卒業したいと思っている生徒がこれぐらいいるのだろうと思います。

定員40人に向けては、今年度タブレット等を配備し、より専門的な部分や特色を生かすことで、生徒数が増えてくればいいと思います。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 私も阿木高校を訪問させていただきますし、身近に生徒もいますので、いろんな子どもたちに対応する学校があつていいと思います。そういう意味で大切な学校だと思っています。米作り、野菜づくりやクラウドファンディングなど、いろいろな取組みを経験することで得るものはたくさんあると思います。40人の定員があるので、いいことをやっている先生方、親身になってくれる先生たちがいる状況や知ってもらいたい取組みを、いろいろな方法でぜひピーアールしてい

ただけると、阿木高校の良さを多くの皆さんに知ってもらえると思うので、よろしくをお願いします。

■教育長 田島委員。

■田島委員 阿木高校を卒業して取れる資格はありますか。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 必ず全員取れる資格は、高校卒業だけです。それ以外では、授業の中や放課後の補習で、ワープロ検定、危険物取扱い、漢字検定や数学検定などに挑戦している生徒はいます。一般的に受験できるものは受験できます。総合生活科にも家庭科技術検定がありますが、卒業しただけでは取れません。その力があれば取れます。農業にも農業検定があり、点数がクリアできれば合格します。

■教育長 田島委員。

■田島委員 坂下高校は、在学中に国家試験を受けて、介護の資格を取って卒業すると聞きました。それは仕事をするために絶対に必要な資格です。坂下高校に行けば取れるということです。阿木高校に行けばこういう仕事に直結する資格が取れるというのであれば、学校のレベルもグレードアップしていくのではないかと思います。そういうことを考えていくのは難しいことですか。

■教育長 太田事務長。

■阿木高校事務長 ある議員から、坂下高校では介護の資格が取れるので、それを議会が補助するが、阿木高校はどうかとお話があったので、担当の先生に確認したところ、福祉専門ではないのでそこまでの授業はできないとのことでした。資格を取るのに特化する学科であれば可能だが、阿木高校ではいろいろな経験を踏ませていく中で、介護の道に進むならそこで取るということです。学校で取らせるとなると、カリキュラム的にそれに特化した科にしないと難しいという話でした。総合生活でできる広い範囲の中で、取れる資格を取るということです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 40人というのは形式的な数だと思います。阿木高校にできるだけ多くの生徒が存続できるように、阿木高校に行ったらこういうことができるというものを作っていないと、これからますます減っていくような気がします。そういう工夫をしていただけるといいと思います。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 阿木高校を見学するときに、いつも生徒たちがいきいき活動している姿に感動します。非常に見学が楽しみです。

生産科学科と総合生活科に分かれていて、その科の中で3年次から2つのコースに分かれますが、その分かれる時点で総合生活科にいる生徒が生産科学科へ移った

ことはありますか。例えば、食品デザインをするつもりだったが農業の方を見ていたら農業がやってみたくなり、3年生から移りたいといった例は今までありましたか。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 今まで教員に申し出ることはなかったです。授業の中で総合生活課の生徒が、生産科学科の生徒と一緒に大量生産のジャムやパンを作る実習は現在やっています。制度的に専門科目の農業と家庭とでは学科が違うので、制度を整えないと途中で変わるのには難しいと思います。受験の時も学科が違うので、第1希望を農業、第2希望を家庭ということは岐阜県ではできません。カリキュラムで工夫できれば、面白いと思いますので検討したいです。

■教育長 在学中の学科変更は制度的にできないということですね。ただ、履修の仕方では興味のある実習を、教育課程の工夫の中でやってみたいことについては今も対応しているし対応は可能だということですね。

■阿木高校教務主任 科目名は家庭科の科目という形で、一緒に作業したり履修に入ったりということは可能ですが、卒業するときの学科は、今は制度上変われません。

■教育長 三尾委員、よろしいですか。

■三尾委員 はい。

■教育長 ほかが質問等ありませんか。教育委員会としても阿木高校の生徒が少しでも増えるといいと思っています。結果的に在学している生徒が少ないですが、少ないことのスケールメリットを最大限に生かして、とても丁寧な教育を施して下さっているのも事実です。こういった部分をしっかりアピールしていくことが、徐々に生徒を増やすためには一番有効だと思います。特に中学校で子どもたちの指導をしている教職員のほとんどが、高等学校の普通科卒なので、商業高校、工業高校や阿木高校のような高校での経験が全くないので、中学校の教職員の理解を促す説明は丁寧にやっていく必要があります。幸い校長先生は在籍3年目になり、今年はトップセールスをしたいと頑張っていてくださいます。中津川市の中学校長会に来て話をさせていただくことは、中津川市立の高等学校なので、機会をいくらでも作れるので、ぜひピーアールに努めていきたいと考えています。

ほかにご質問等ありませんか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ議第24号については、承認ということでよろしいでしょうか。

議第24号「令和4年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第25号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」提案説明をお願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 6月28日の議会に提出して、議決されたらすぐに工事に着工できるのですか。

■教育長 伊藤事務局次長。

■事務局次長 準備も含めてすぐに対応したいと考えています。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 現況図と計画図を見て「こういうふうにつながっているんだ」と初めて分かりました。ウイルス対策やブロックをかけるところは、本庁のサーバーですか。福岡なら福岡総合事務所なのか。また、フィルターが3枚ある学校があるのか1枚しかない学校があるのか、仕組みを教えてください。

■教育長 伊藤事務局次長。

■事務局次長 市のネットワークの中でフィルタリング、規制をかけているものは市全体にかけています。特にGIGAスクールの場合、教育委員会でそれぞれ使うタブレットや各学校のWi-Fiで制限をかけて教育委員会で管理しています。

■教育長 小川主任。

■教育企画課主任 補足します。今までの形態だと、一番出口に近いところにセキュリティーの機械を置いて、そこで守るのが一般的でした。ただ、GIGAスクールで導入した児童生徒1人1台の端末は、今後の持ち帰りも含めた仕様になっています。持ち帰ると学校を経由するネットワークにはなりません。ウイルス対策は去年から考えており、持ち帰った段階でもセキュリティーが働くようになっています。持ち帰ったときに、ギャンブルなどのサイトが見えないようになっています。ウイルス対策も含め、どのネットワークに接続してもしっかりそこが働く構成にしていますので、その点に関しては問題ないと思います。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 計画図案で、落合から蛭川まで、それぞれの総合事務所を経由する意味合いはあるのでしょうか。

■教育長 小川主任。

■教育企画課主任 計画を作る段階で、全ての学校でどのくらいのネットワークが必要か計算を行いました。上の方に名前のある学校は人数の多い学校です。たくさんネットワーク通信を使う学校です。恵北地区や落合事務所の傘下、落合小中学校、神坂小中学校の児童生徒数は、市内の第二中学校と同等かちょっと多いぐらいになります。落合小学校、落合中学校それぞれから出すこともできますが、ランニングコストがすごい額になります。費用対効果として単に倍ぐらいかかります。ただ、費用対効果としては非常に少なく、生徒が50人に満たない学校もあるので、そういうところに入れても効果は非常に薄くなります。今回ある程度まとめた段階でも計算上大丈夫な数値を出しています。まとめたことでその費用を抑えることができるので、まとめれば帯域の不足は生じずコストは抑えられるので、まとめています。

■教育長 ほかにご質問等ございませんか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第25号については、承認ということでよろしいでしょうか。

議第25号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」は、原案どおり承認とします。

これをもちまして本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について報告してください。

伊藤事務局次長。

■事務局次長 次回の開催日は、令和3年7月15日、木曜日、13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

■教育長 それでは、次回は、令和3年7月15日、木曜日、13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

以上で、令和3年第7回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れさまでした。

〔 閉 会（午後2時47分） 〕